

1. 学びのサポート

子どもたちが主体的に学習を進めていくことができるように、学習の進め方や説明のしかたなどを取り上げました。また、一人ひとりがしっかりと学習に取り組めるように、見やすく読みやすい紙面にしました。

主体的な学びのために

1時間の授業を充実させるために、巻頭に授業展開のモデルを掲載し、その後に、それを実践する場面を設けました。子どもたちが授業に積極的に参加することで、算数科における思考力・判断力・表現力が向上していきます。



■ 学習に取り組む態度を身につける


「わくわく算数学習」は、各学年の巻頭「学習の進め方」の展開に沿って、話しあいや説明のしかたなどのモデルを示しています。各学年の早い時期に設定することで、これから1年間の学習に取り組む態度を養います。


2年上 p.14-15


学びを いかにそう みんなで つくろう！ わくわく算数学しゅう


1 どんな もんだいかな **たいげつ** ① 算しゅうの めあてを もちましよう。



1  を 右のようにならべました。
 は 何こ ありますか。

 何を もとめる もんだいですか。


 1こずつ 数えるのも いいですね。ほかの もとめ方も 考えて みましよう。

 図を かいても いいと思います。

ぜんぶの  の 数を もとめる もんだいです。

  は 13こ あります。1こずつ 数えました。


いろいろな もとめ方を しきに かいて みまよう。




2 自分で 考えよう **たいげつ** ② 考えた ことを わかりやすく かきましよう。

② 自分の 考えを 図や しきに かいて みましよう。


しき




たての まとまりで 考えて みると……

 だいち


しき




よこの まとまりで 考えて みると……

 ひなた

ほかの もとめ方も 考えて みましよう。



①めあて  の 数の もとめ方を 図や しきに かいて 考えよう。

14

15

算数資料集

「わかりやすく説明しよう」(22ページ参照)、「わくわく算数ノート」(22ページ参照)、「算数でよく使う考え方」(20ページ参照)などの学びをサポートする資料をオプションに掲載しました。

■ 学習の進め方

子どもたちの積極的な授業参加を促す1時間の授業のモデルを各学年の巻頭で提示しました。これを1つの指標として、学習内容に応じて創意工夫した学習を進めることができます。

2年上 p.4-5

1 学しゅうの すずめ方

3 みんなで 読しあおう

1 どんな もんだいかな

もんだいを 学しゅうしよう。

……なんた、ことや わかりたい ことを ばりばり できよう。

「学しゅうの めあてを もちあひしよう。」

……なんた、めあてを ばりばり。

1 車が 8台 とまっていいます。

3台 くるを、何台に なりますか。

3台 ぶんあわくら
に します。

しき 8÷3

めあてを もって
なんた、めあてを
学しゅうを して
いのが ばりばり します。

めあて 計算の しきたを ばり、
せつめいしよう。

……わかりやく ばりばりしよう。

①自分の 考えと いて、いっしょ どころや、ちがう ところを あひばりしよう。

②わかった、ことを ばりばりしよう。

このよに、を
うごかしました。

角のてを、
わたり、を
え、うごかし、
10を づき
しました。

しつもんを
どうして
え、うごかし、
2こ うごかし
てますか。

2 自分で 考えよう

みだれたい もって、考えよう。

……なんた、ことや、つづいて、考えよう。

①考えた、ことを わかりやく、めあひしよう。

……めあて、を、つづいて、考えよう。

……めあて、を、つづいて、考えよう。

4 たしかめよう

①自分の、もんだいをも
ためして、みましよう。

学んだ、こと
をつかひしよう。

5 ふりかえろう

①わかった、ことを、もって、やっ
て、めあひ、ことを、かきしよう。


② ① 8÷6

10を つくると
いっしょで、計算で、さ
ることが、わかりました。

2年上 p.16-17

3 みんなで 話しかおう

たいせつ → ①にて いる ところや ちがって いる ところを 話しあいましょう。



① わかりやすく はっぴょうしましょう。


●は 13こ あります。
しきは $1+3+5+3+1$ です。

わたしも しきは $1+3+5+3+1$ になりました。

だいちゃんと ひなたさんの しきは 同じです。
どのように もとめましたか。

よい ことを いいました。
図で せつめいすると いいですね。

たてに 線で かこむと、左から 1こ、3こ、5こ、3こ、1こに なるので、しきは $1+3+5+3+1$ になります。



だいちゃんの もとめ方が、図の せつめいで よく わかりました。

わたしは、だいちゃんと かこみ方が ちがいます。
よこに 線で かこむと、上から、1こ、3こ、5こ、3こ、1こに なるので、しきは $1+3+5+3+1$ になります。

しきは 同じでも ちがう もとめ方がある ことが わかりました。

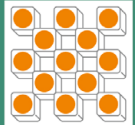
ひなた

② わかった ことを まとめましょう。

4 たしかめよう

たいせつ → ②ほかの もんだいでも ためて みましょう。

② が 右のように ならんでいます。
 の 数をもとめる しきを かいて、
何こ あるか せつめいしましょう。



5 ふりかえろう

たいせつ → ②わかった ことや もっと やって みたい ことを ノートに かきましよう。

の ならび方を しぎに かける ことが おもしろい と思いました。
1こずつ 数えるより、しぎに かいて もとめる ほうが いいと 思いました。

話しあいの中で 同じ しぎでも いろいろな もとめ方がある おもしろかったです。
もっと ちがう もとめ方を 考えて みたいです。

これからも このように みんなで 話しあって、楽しく 学ばうしましょう。

2年上 p.138

算数しりょうしゅう
わかりやすく せつめいしよう

自分の考えをつたえるときには、聞いている人にわかりやすく せつめいしましょう。

「わくわく算数しりょう」14～17ページ

わかりやすい表現

授業が円滑に進むように、文章、図、写真などの表現方法を見直し、従来より読みやすく理解しやすい紙面にしました。

■ 道具の使い方

コンパスで円をかくなどの道具を使う場面では、その使い方を手順を追って写真で丁寧に示しました。

3年上 p.36

コンパスの使い方



① えん筆とはりのさきの高さが同じになるようにし、コンパスを開く。



② はりをさす。



③ 手首を自分のほうにひねる。



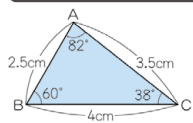
④ ひとまわりさせる。

■ 読みやすい文章

問題文や説明文などの文章を読みやすくするために、意味の区切りで改行したり、当該学年以上で学習する漢字には見開き毎にルビを付けたりしています。

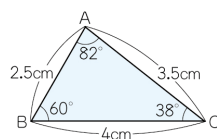
旧6年上 p.78

- 1 右のような三角形の3倍の拡大図を、方眼紙を使わないでかいてみましょう。



6年 p.106

- 1 右のような三角形の3倍の拡大図を、方眼紙を使わないでかいてみましょう。



問題文を囲んでわかりやすくしました。

旧1年 p.122

- 1 ふえと、なん円になりますか。
30+2= 円

絵と文章をよみとる必要がありましたが、...

1年 p.132

- 1 30円^{えん} あります。
2円^{えん} ふえと、なん円になりますか。
30+2= 円



文章で表現することで理解しやすくなりました。

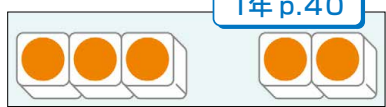
■ 特別支援教育やインクルーシブ教育への配慮

特別支援教育の専門家の先生監修のもと、特別支援教育やインクルーシブ教育に配慮して、読みやすく理解しやすい紙面にしました。

■ CUD (カラーユニバーサルデザイン)

色彩については、色覚の個人差を問わずに取り組むことができるよう配慮しています。色だけで判断する問題は扱わず、見分けることが困難な配色は避けています。

数図ブロックの色を赤から橙に変更しました。



1年 p.40



個への対応(習熟度別学習, 少人数学習への対応)

子どもたちの興味・関心や進捗等に応じて、柔軟に扱うことができる教材を用意しました。習熟度別学習や少人数学習にも対応しています。

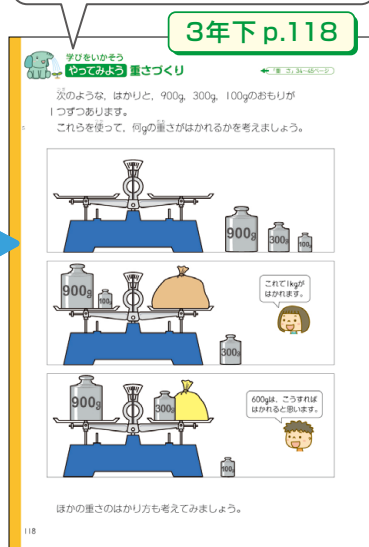
■ 発見! 算数島 (オプション)

補充・発展の問題や本編の練習問題、学習の際に役立つ資料で構成しています。また、配当時間に含めないことをページ端の橙色の帯で示しています。



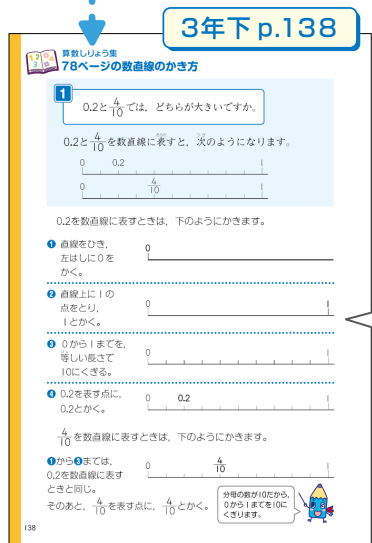
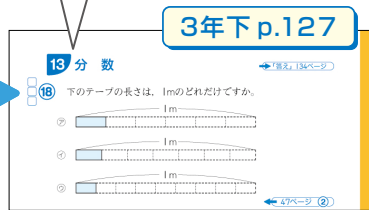
やってみよう

学習したことを活用する問題を用意しました。



もっと練習

繰り返し練習できる問題を用意しました。



図のかき方

図のかき方をスモールステップで丁寧に示し、子ども自身で図を使って考えることができるようにしています。

■ 個への対応

本文では、進捗に応じて学習していくことができるように、練習問題を色分けするなどして対応しています。(9ページ参照)